

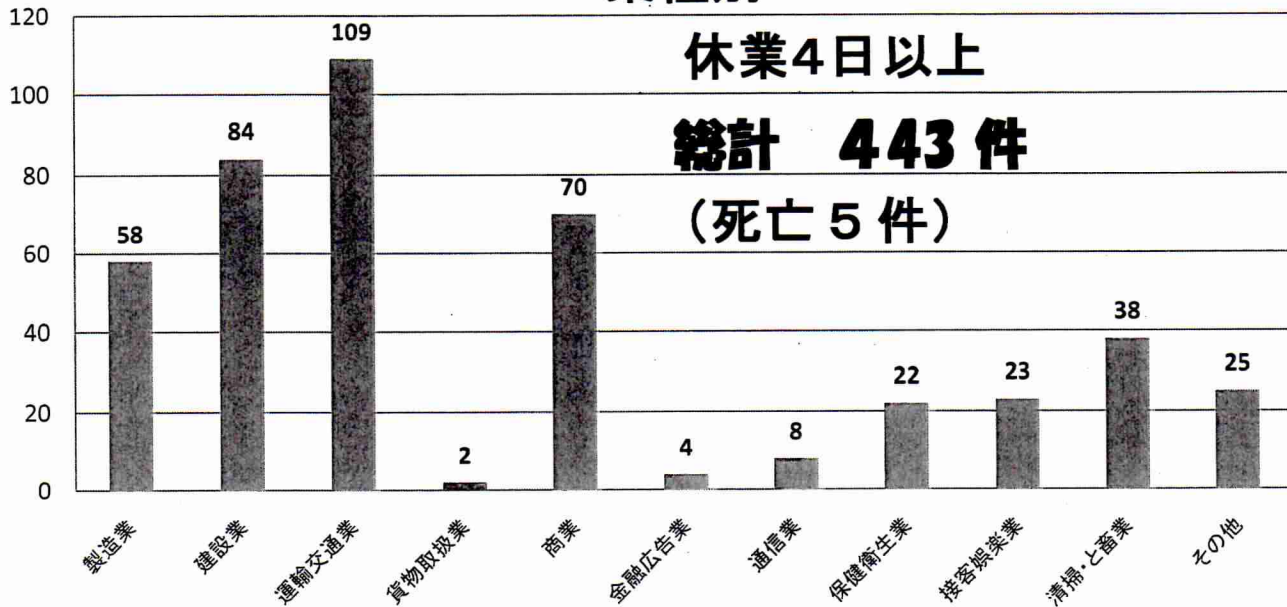
平成22年
労働災害の現状
労働者死傷病報告の分析
(江戸川区)



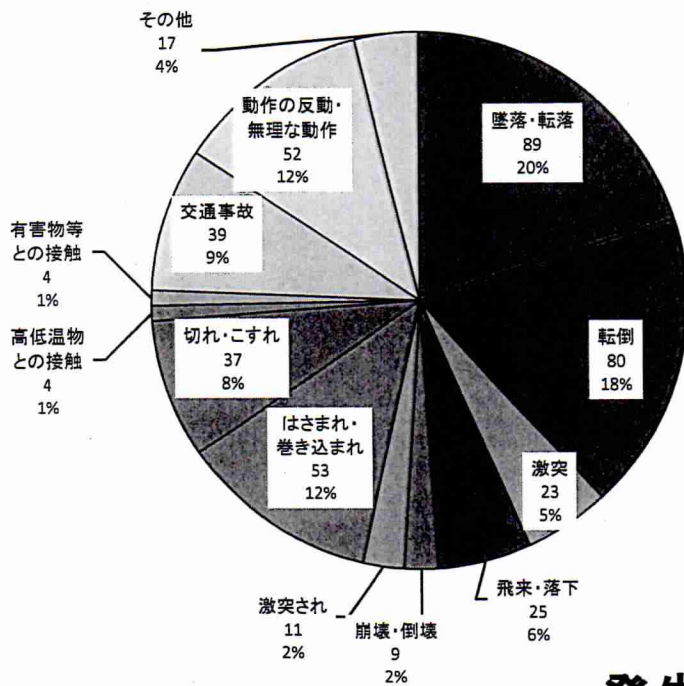
江戸川労働基準監督署

全業種労働災害発生状況

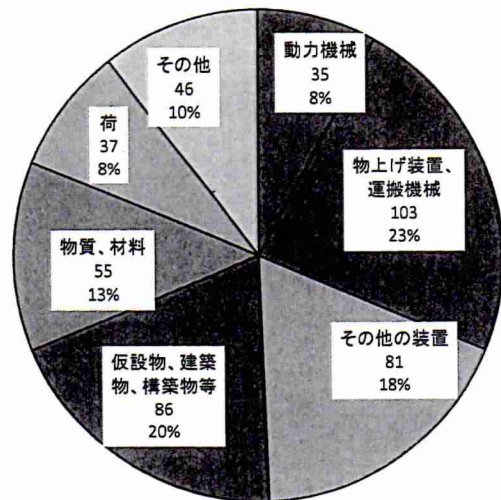
業種別



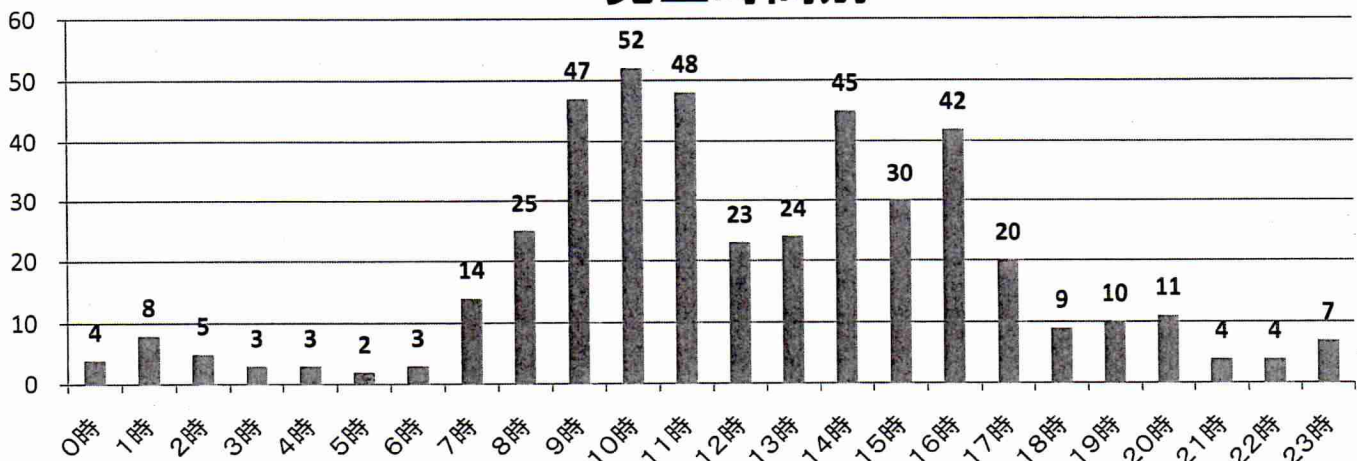
事故の型別



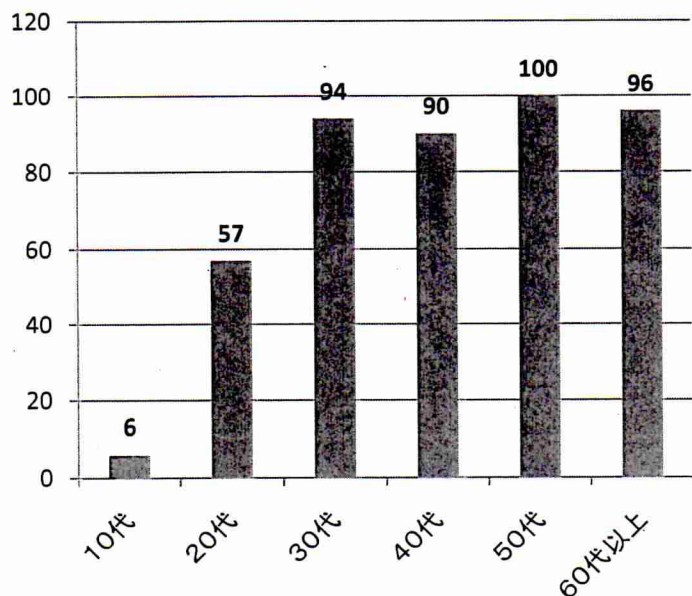
起因物別



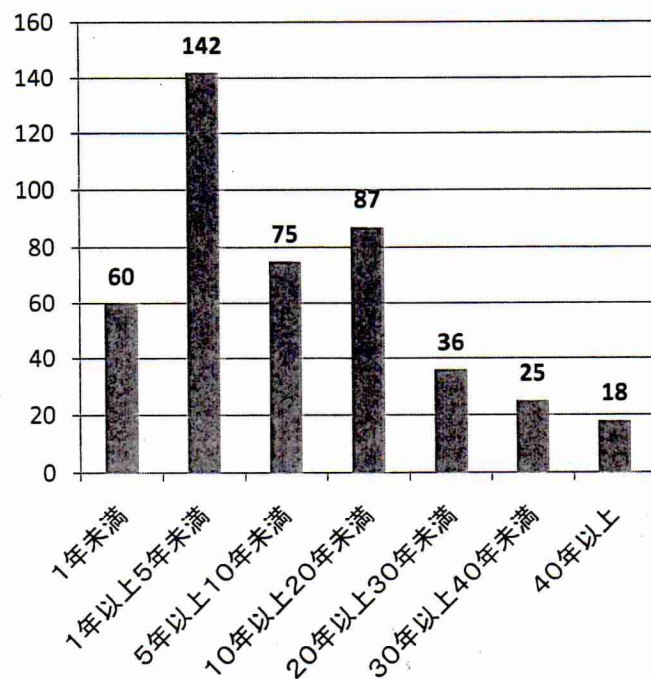
発生時間別



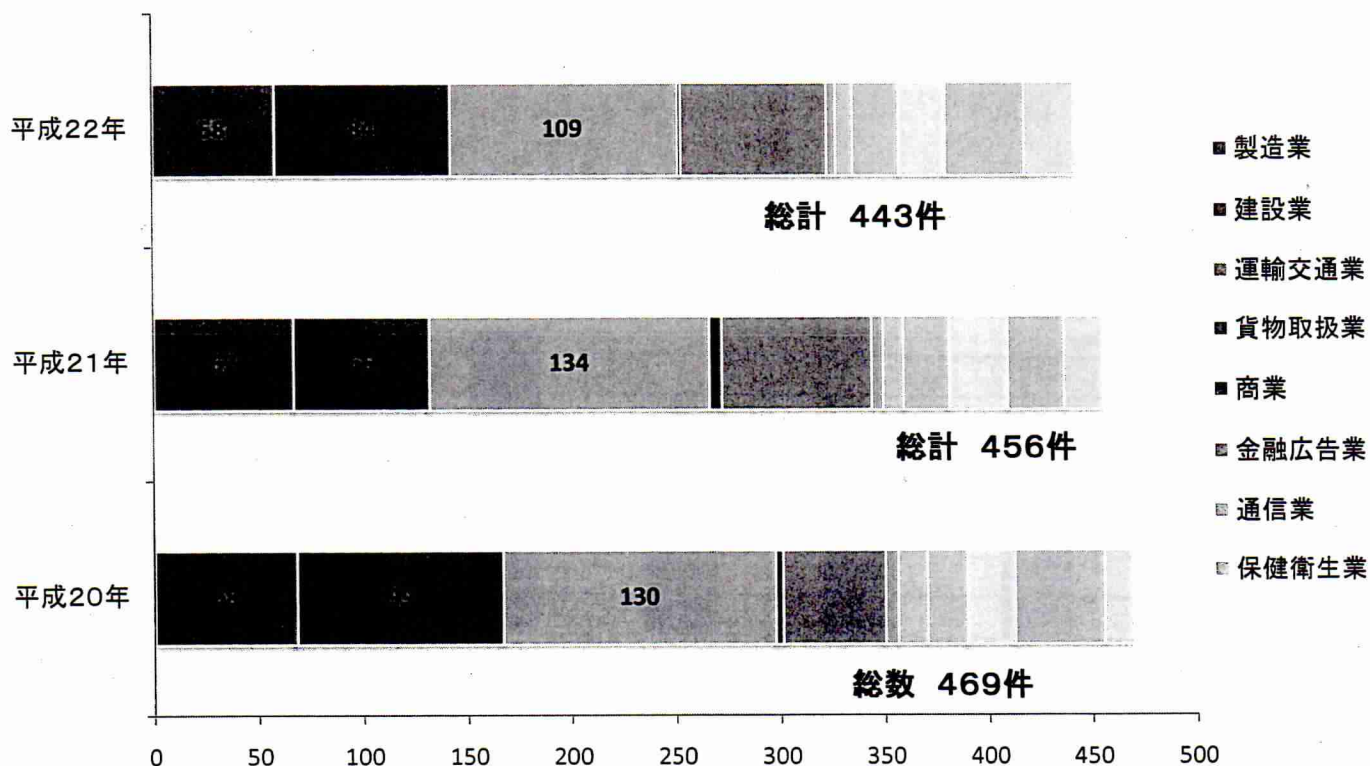
年齢別



経験年数別

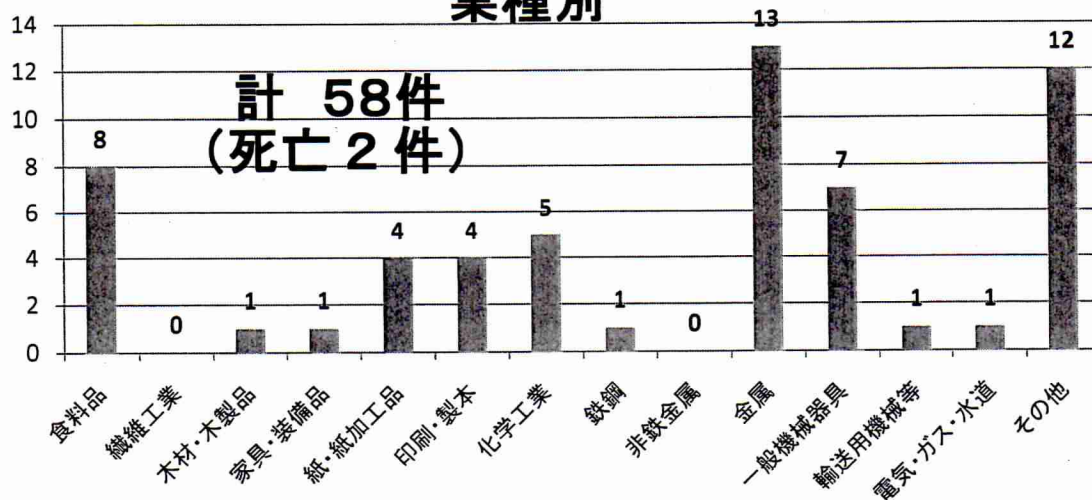


過去3年間ににおける労働災害発生状況

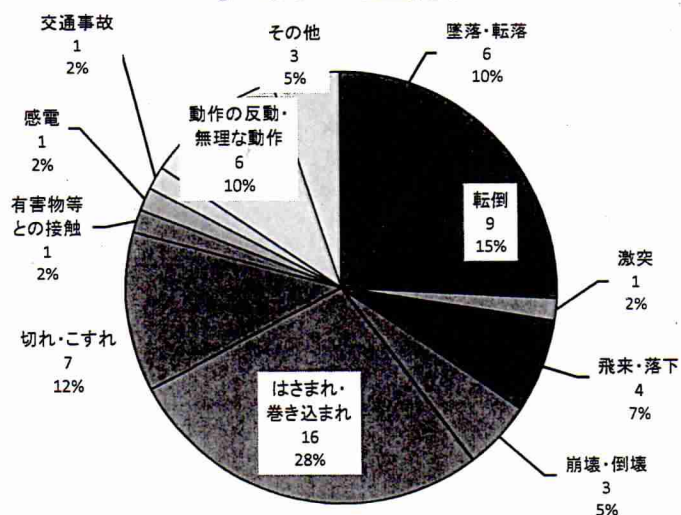


製造業労働災害発生状況

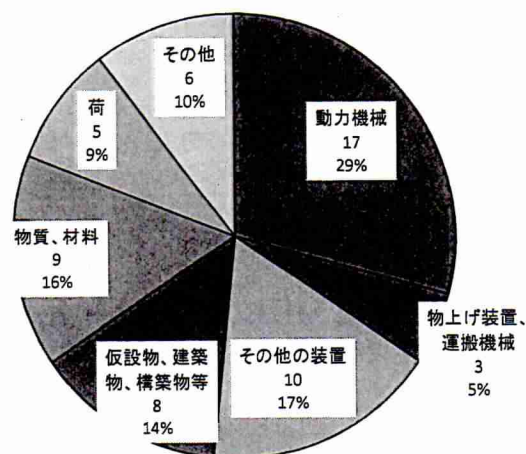
業種別



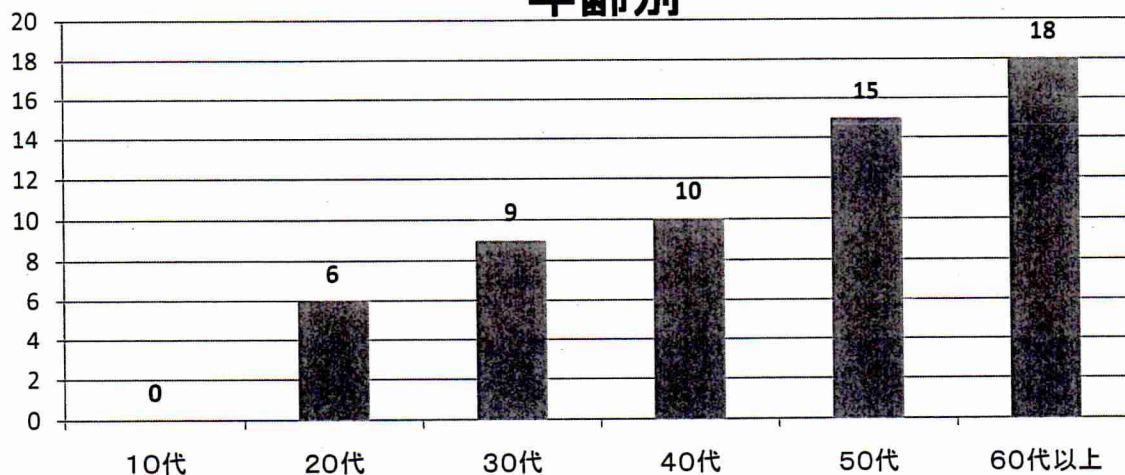
事故の型別



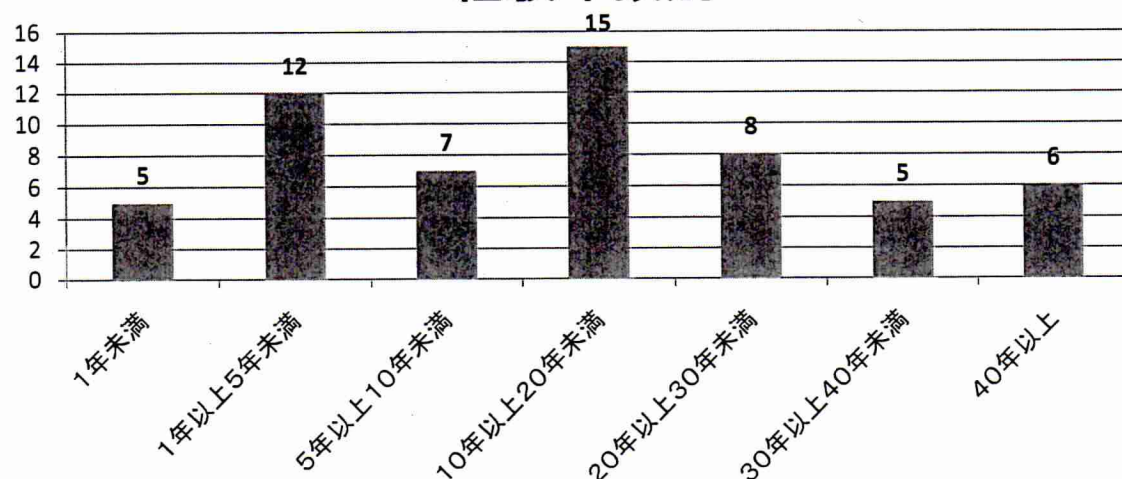
起因物別



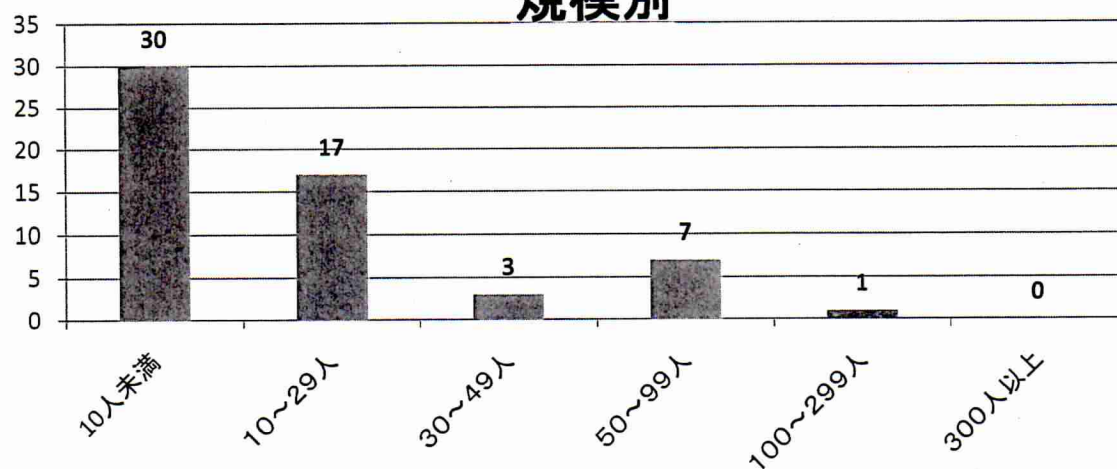
年齢別



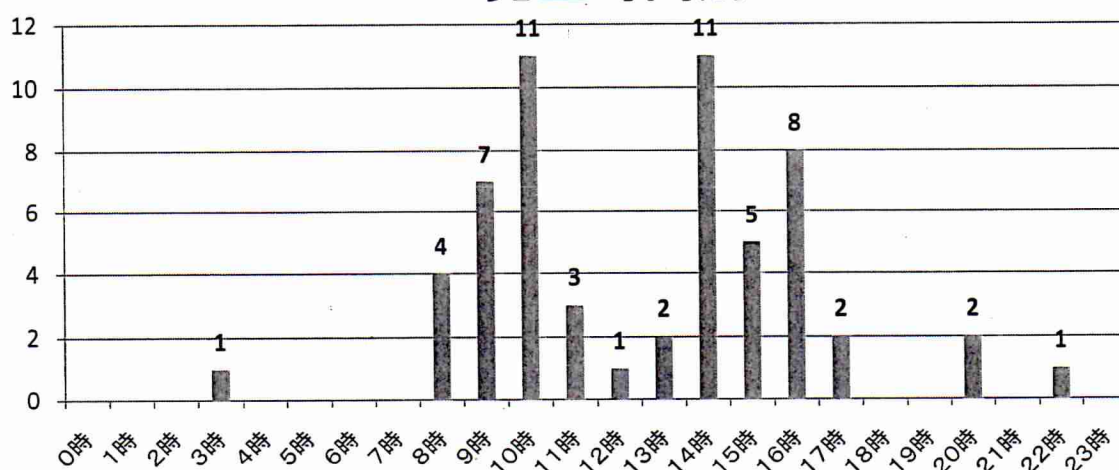
経験年数別



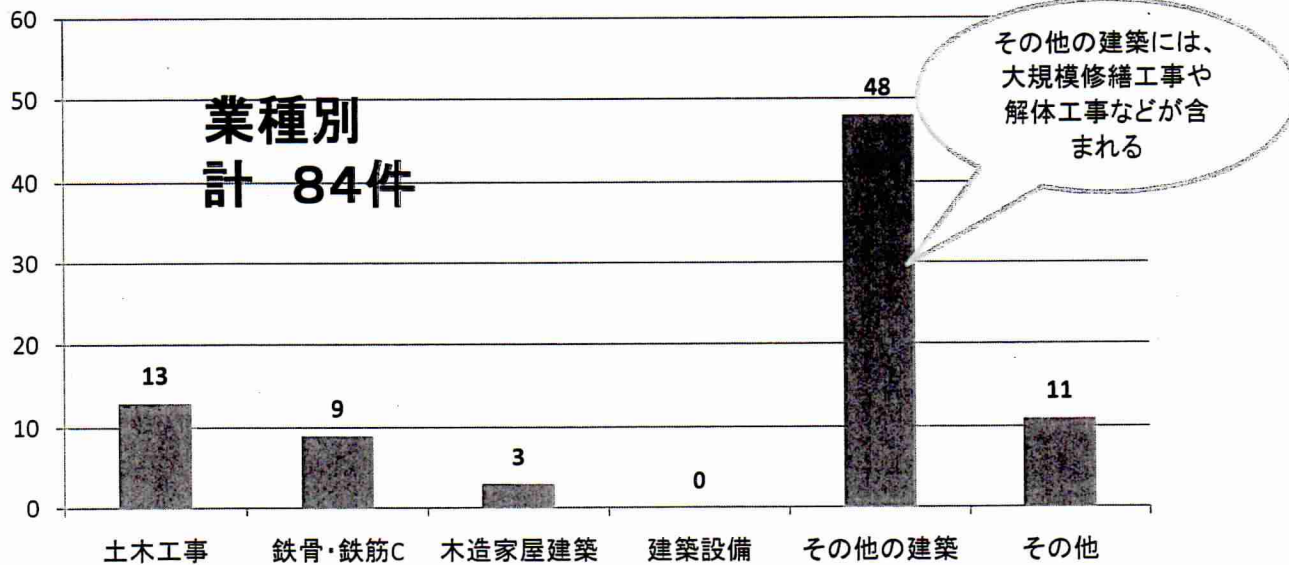
規模別



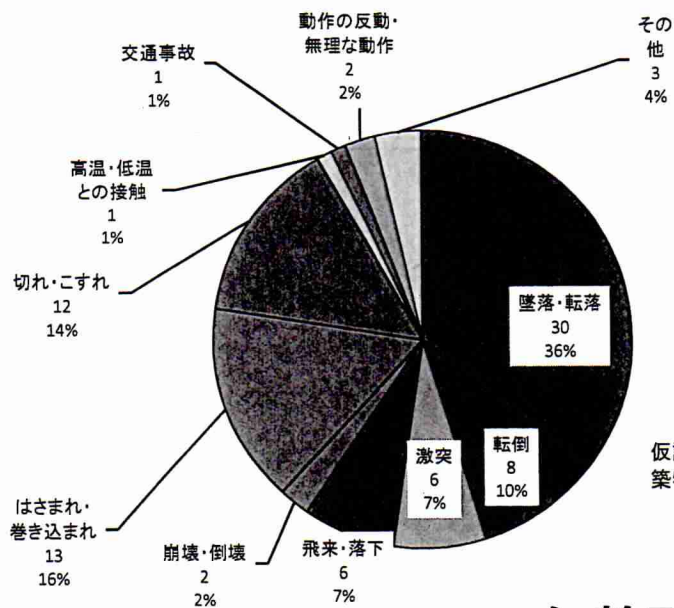
発生時間別



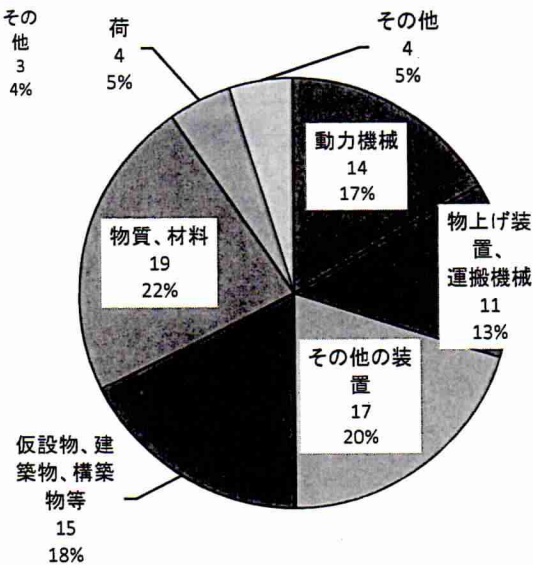
建設業労働災害発生状況



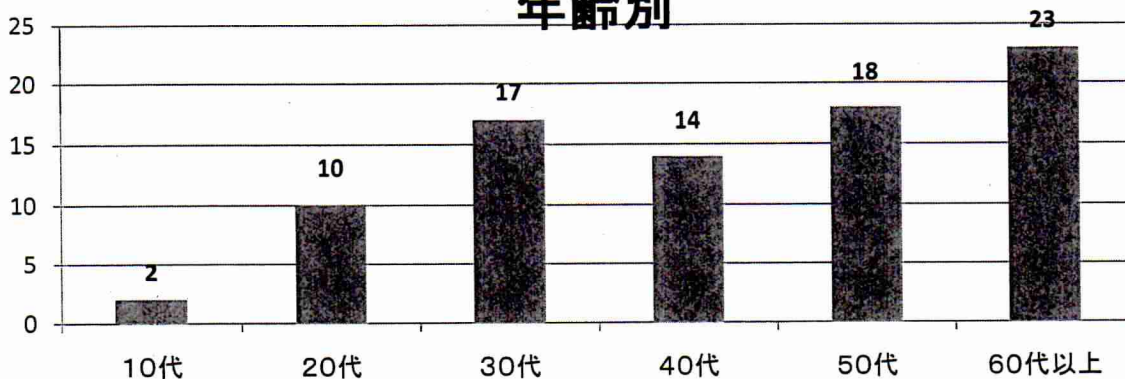
事故の型別



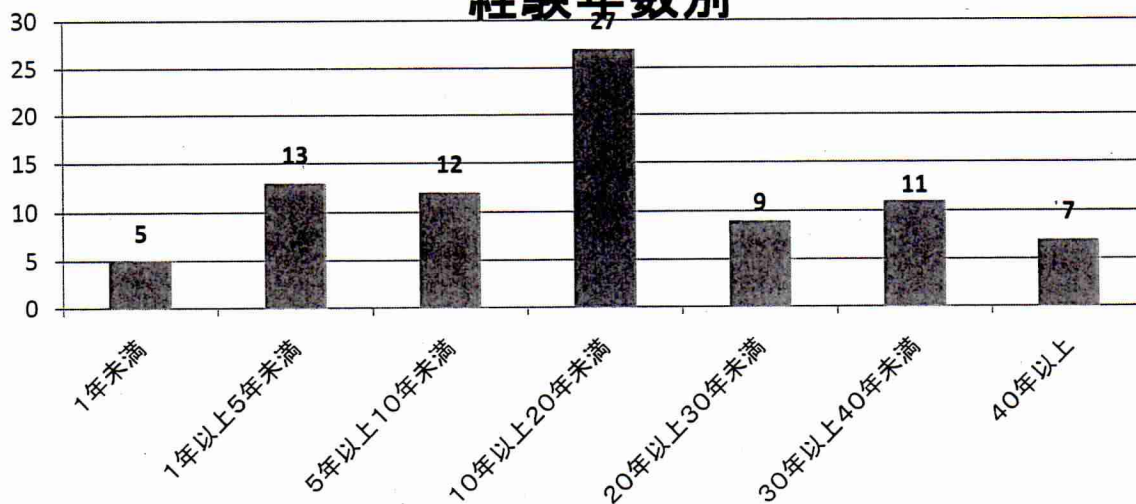
起因物別



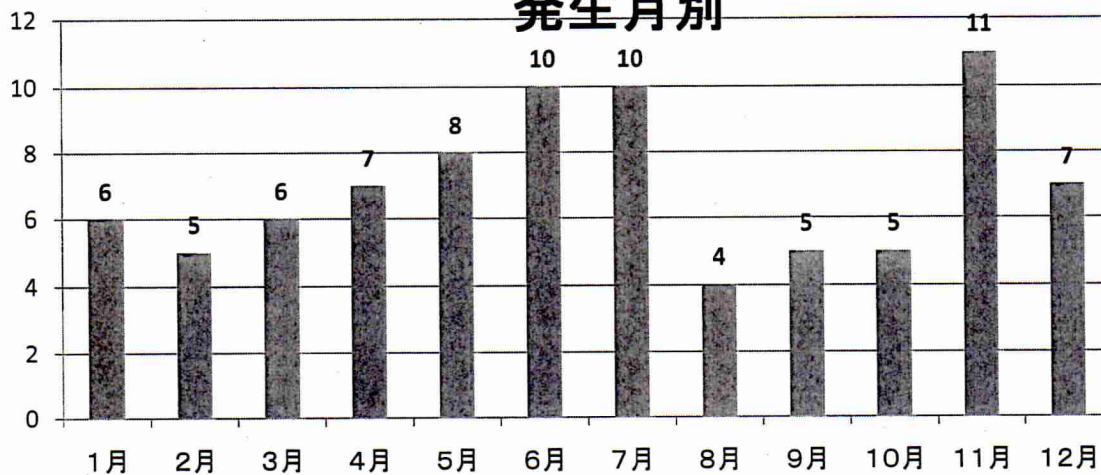
年齢別



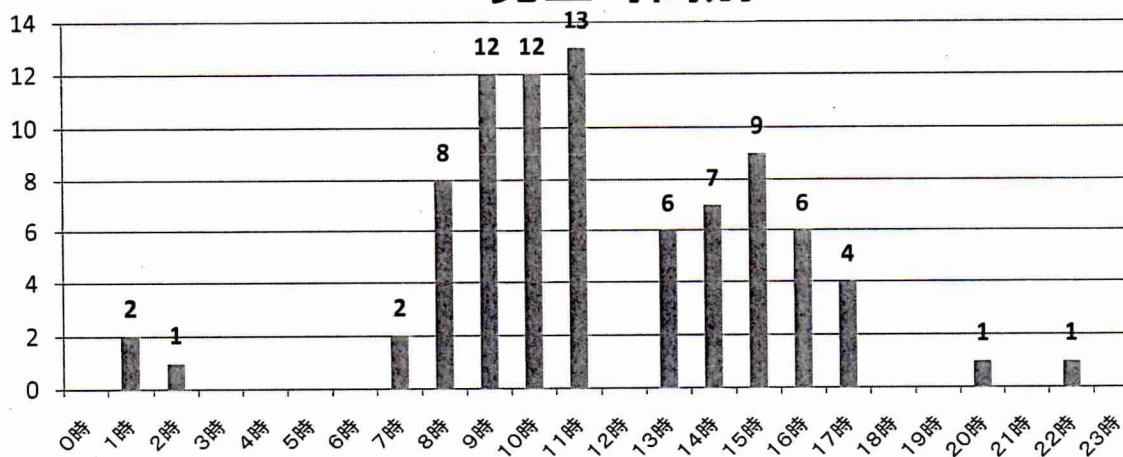
経験年数別



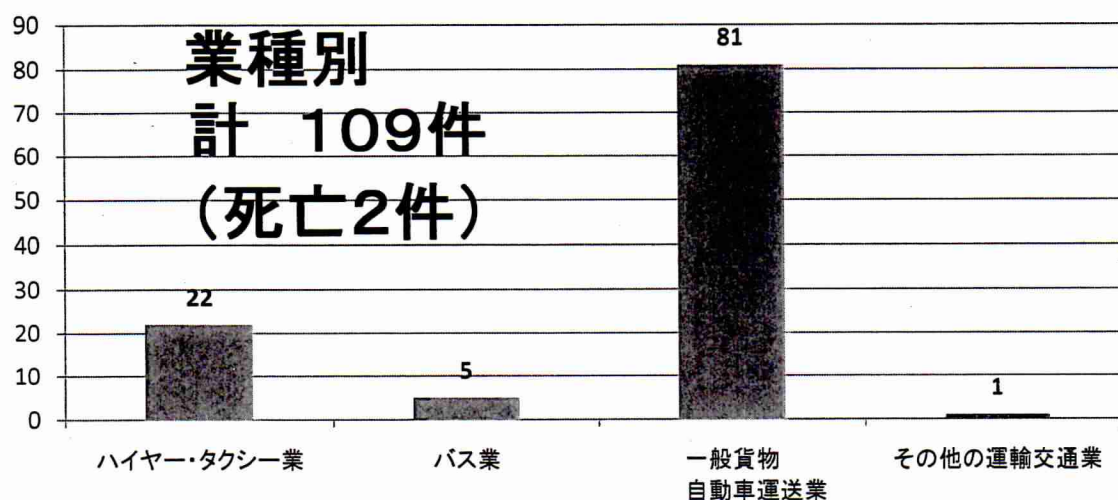
発生月別



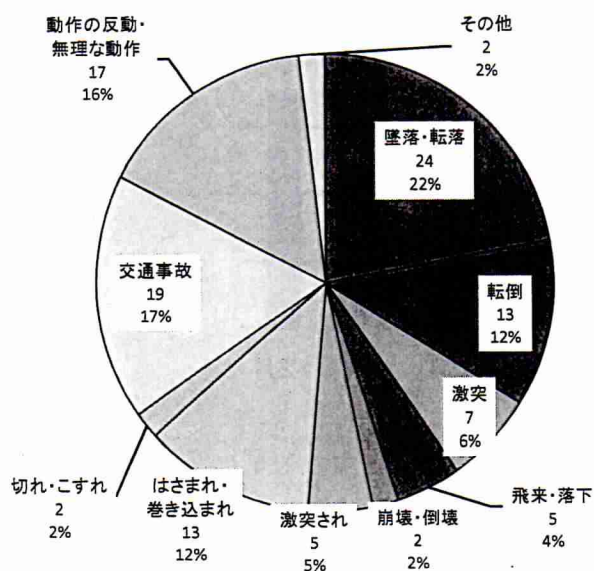
発生時間別



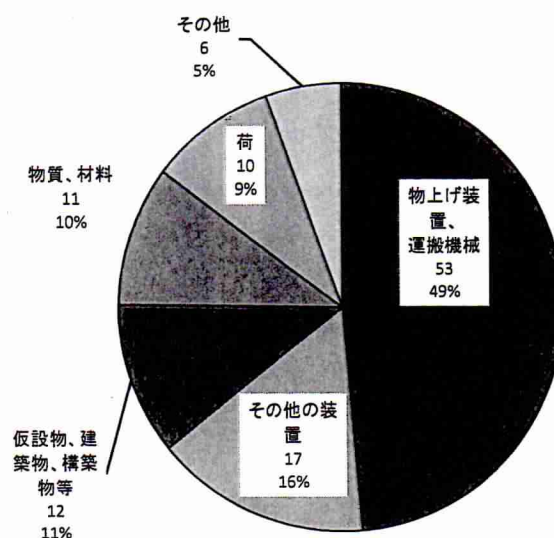
運輸交通業災害発生状況(1)



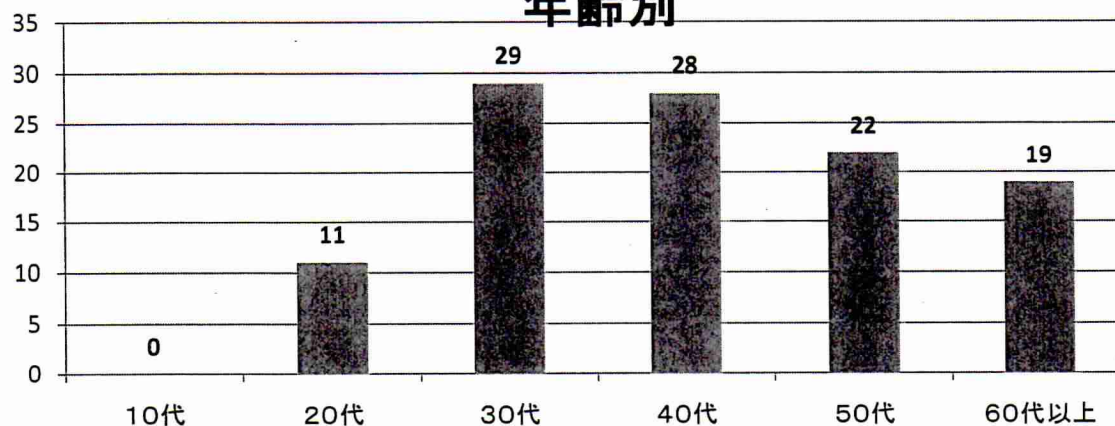
事故の型別



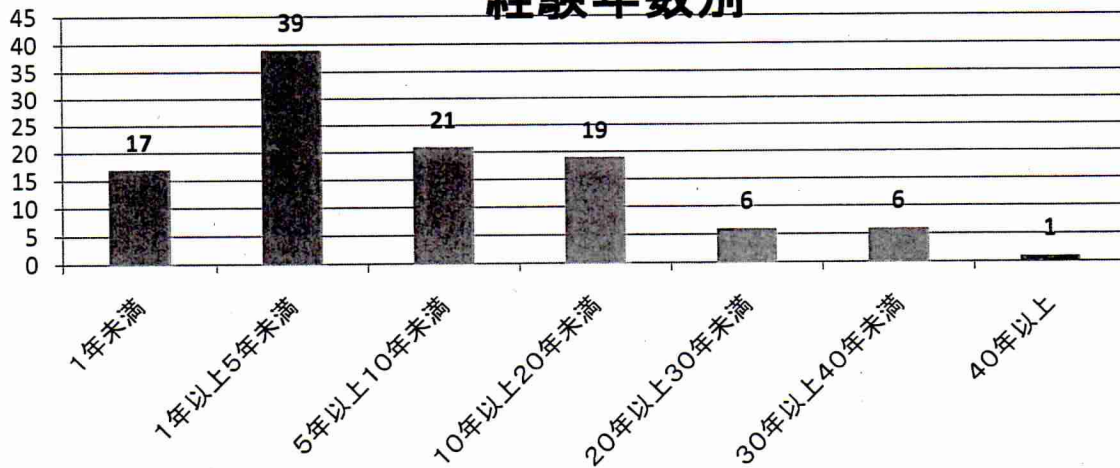
起因物別



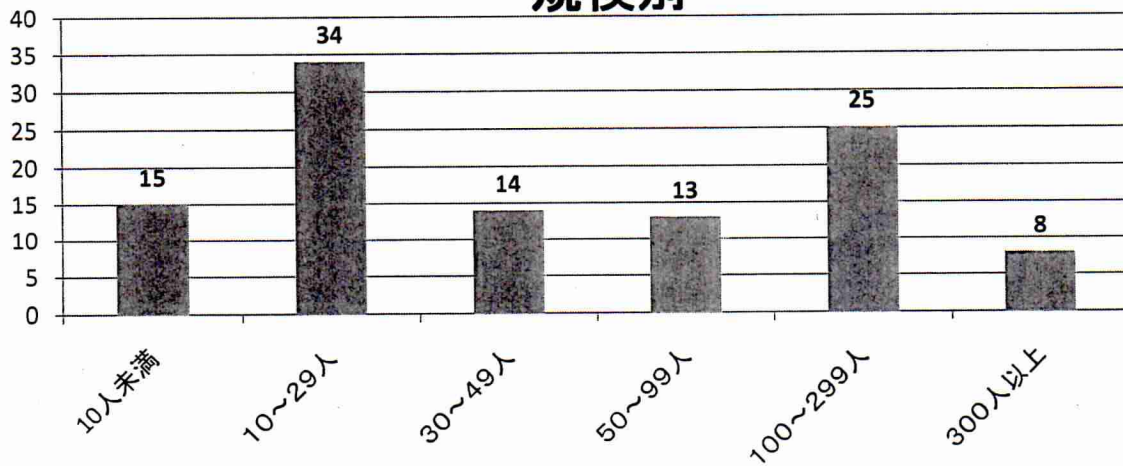
年齢別



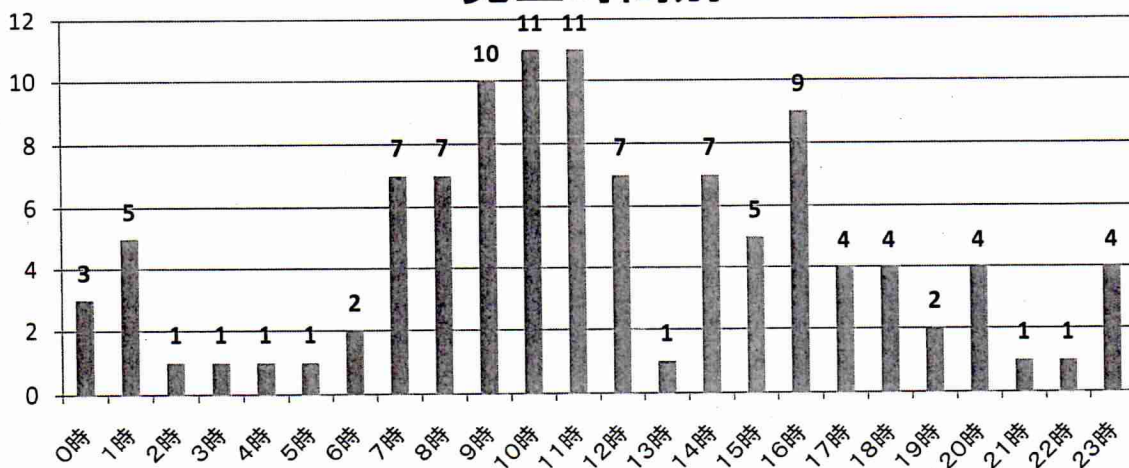
経験年数別



規模別



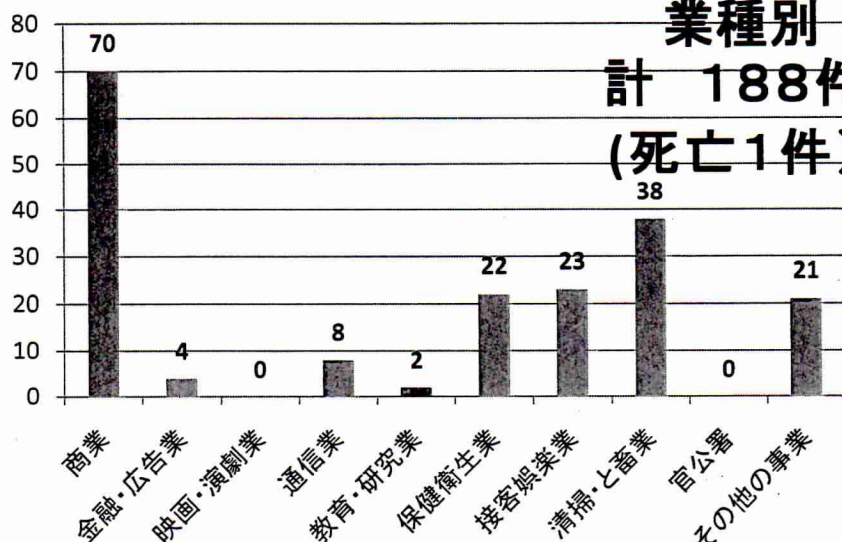
発生時間別



第3次産業災害発生状況

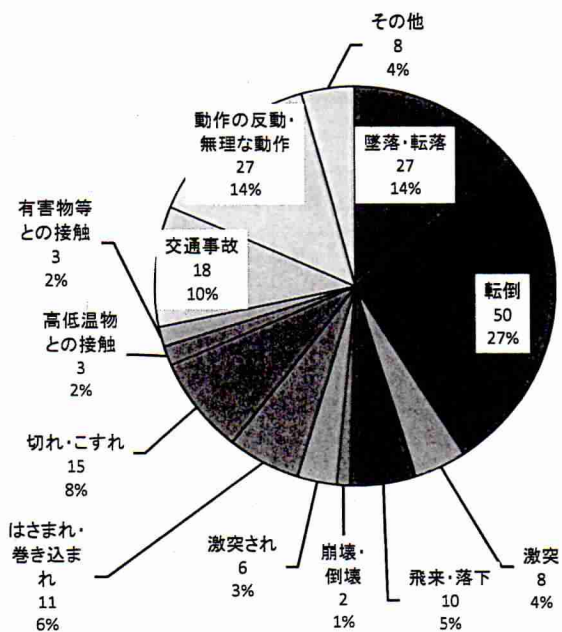
業種別

計 188件
(死亡1件)

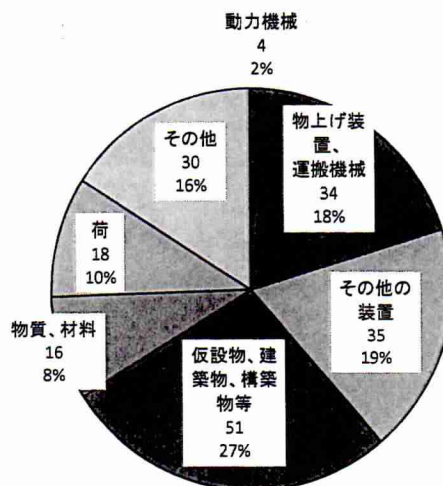


第三次産業における労働災害発生状況を見ると商業が70件(37%)と最も多く続いて、清掃・と畜業38件(20%)接客娯楽業23件(12%)、の順になっている。
※その他の事業とは派遣業、警備業等である。

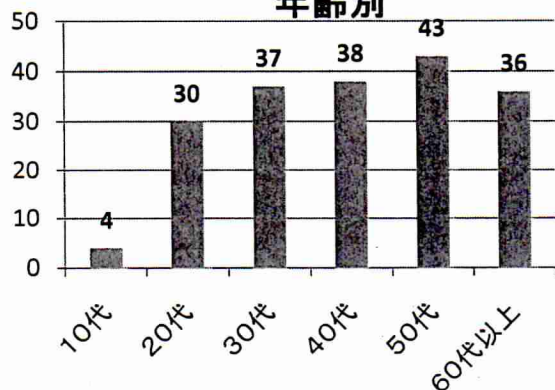
事故の型別



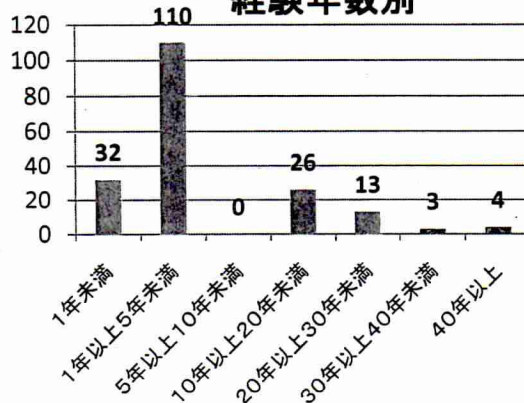
起因物別



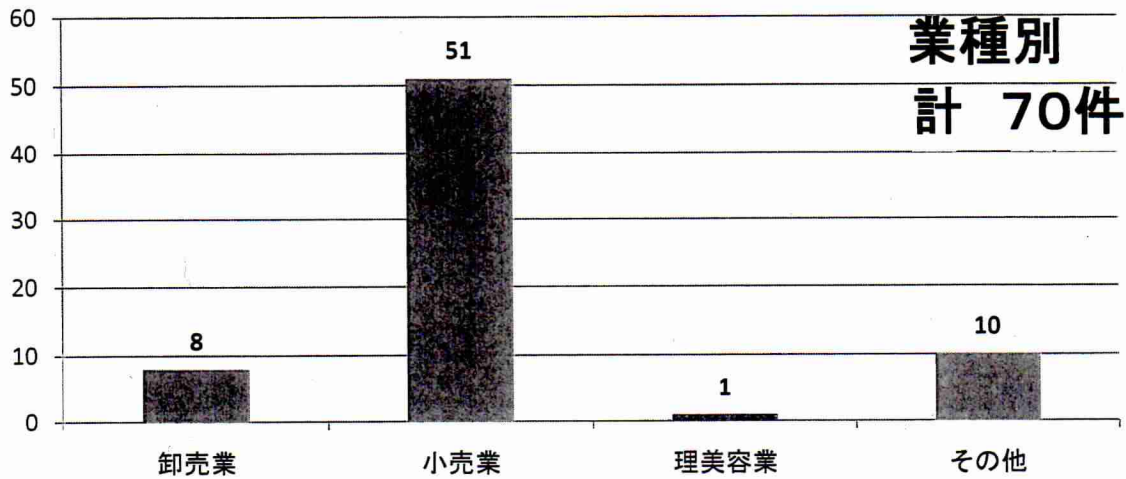
年齢別



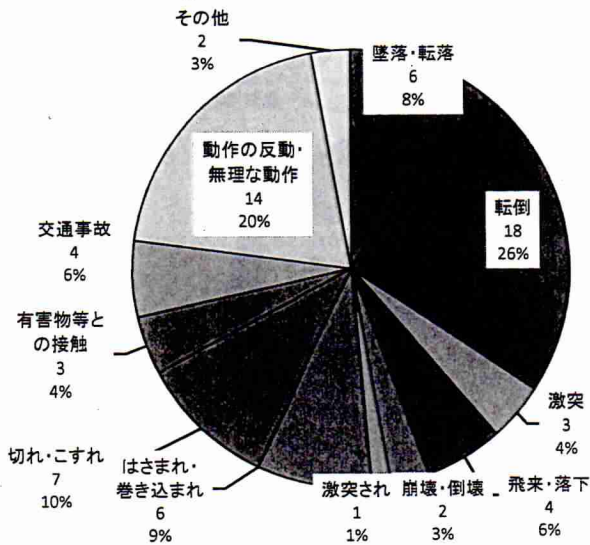
経験年数別



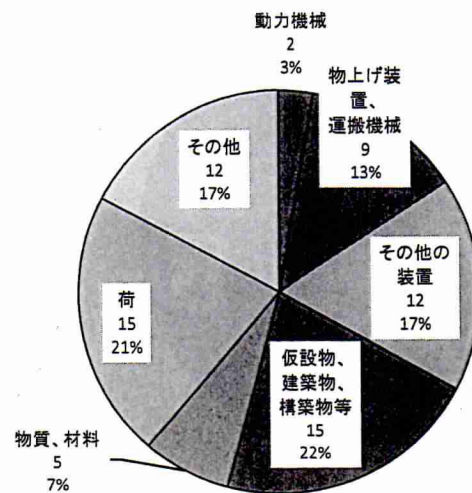
(1)商業労働災害発生状況



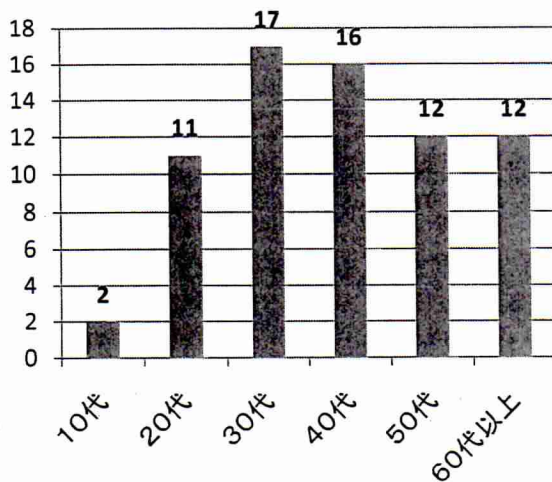
事故の型別



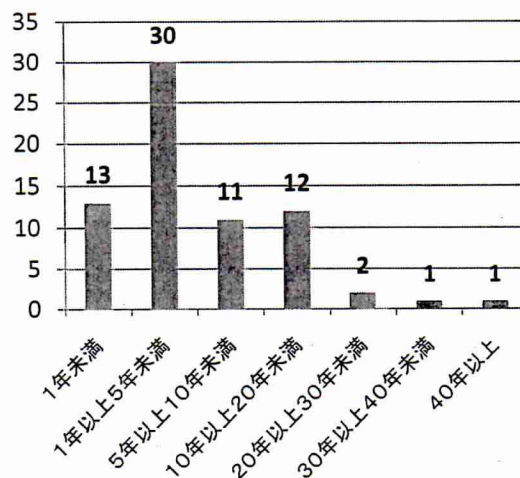
起因物別



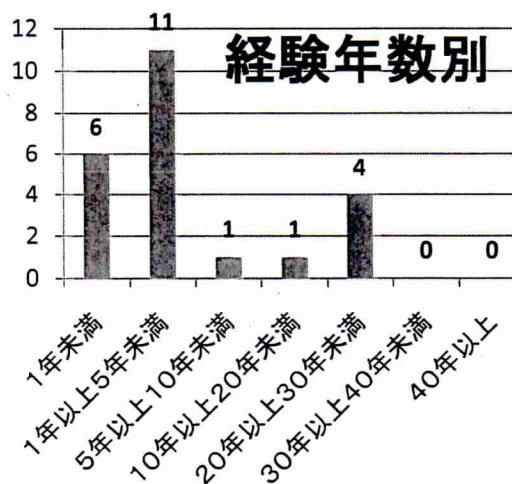
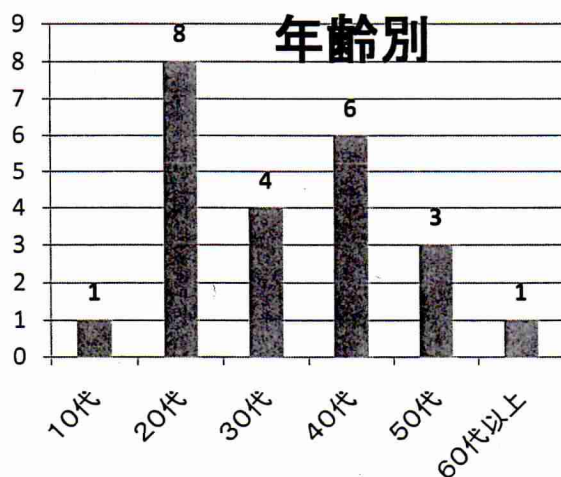
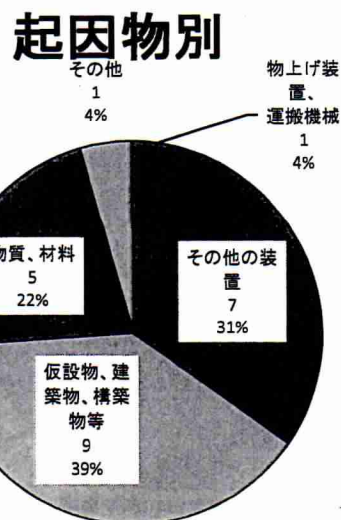
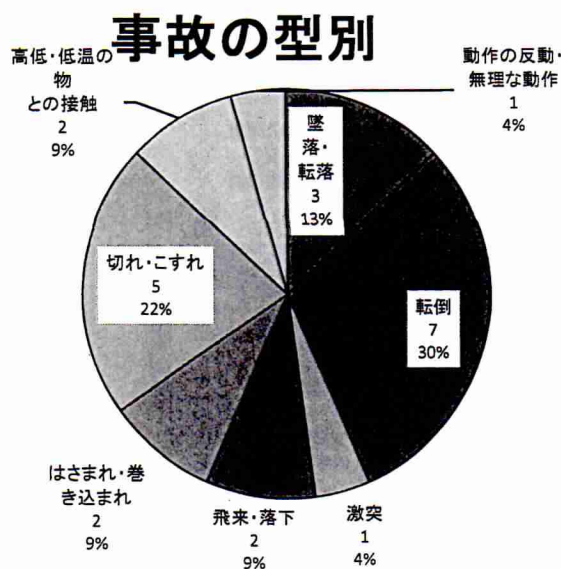
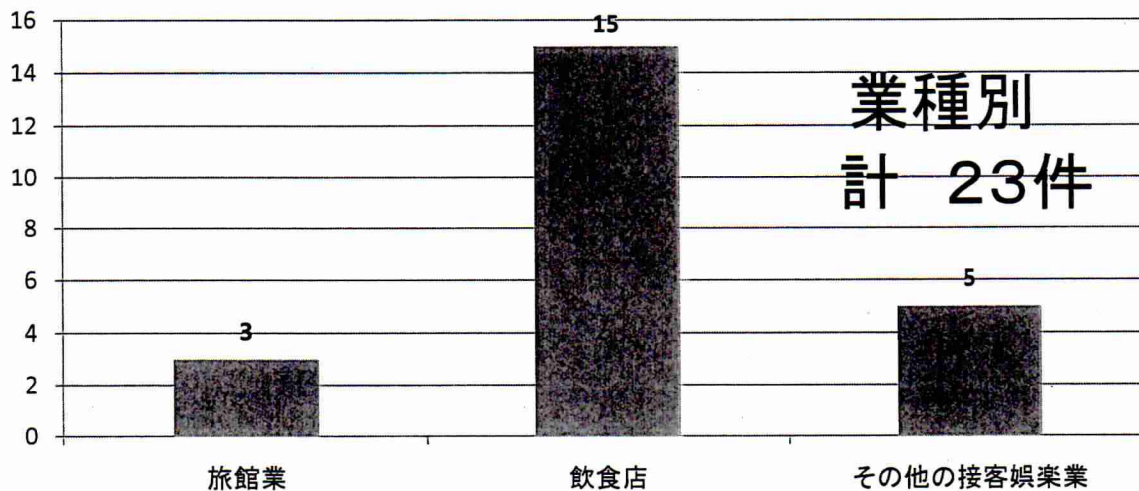
年齢別



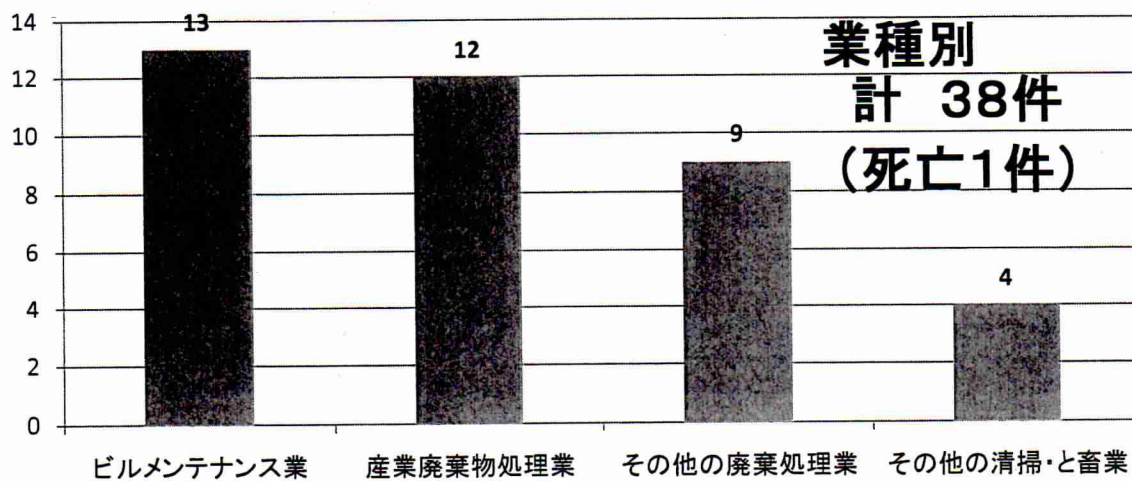
経験年数別



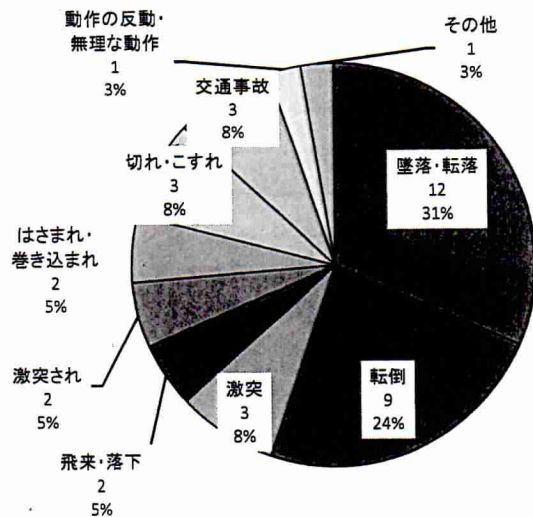
(2)接客娯楽業労働災害発生状況



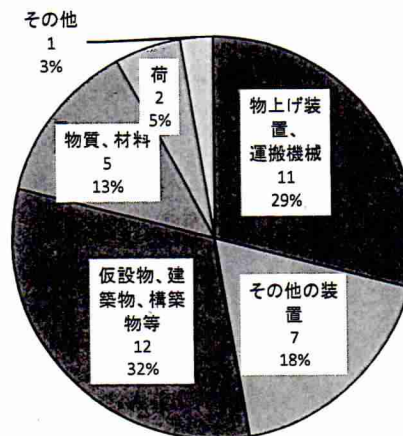
(3)清掃・と蓄業労働災害発生状況



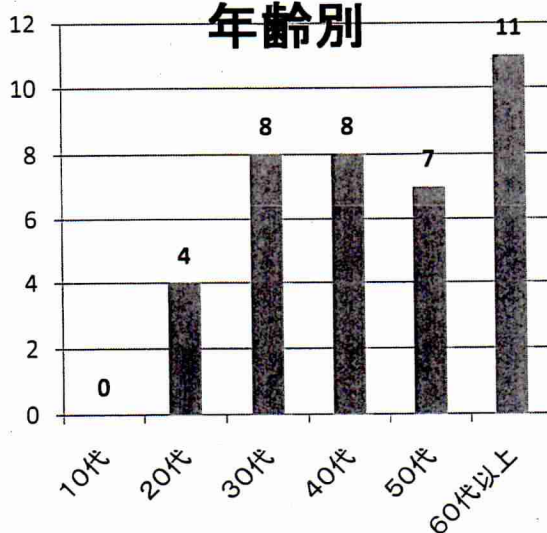
事故の型別



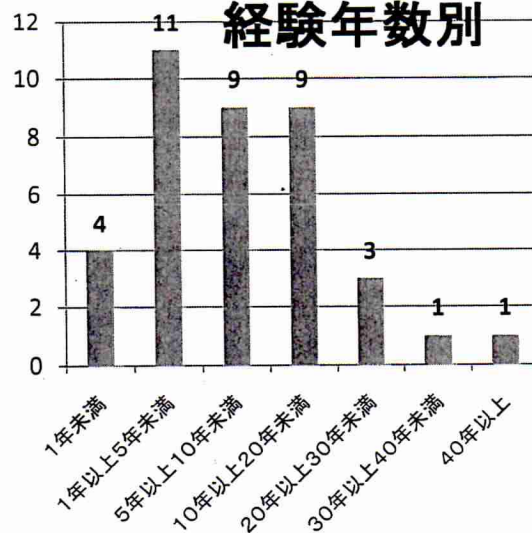
起因物別



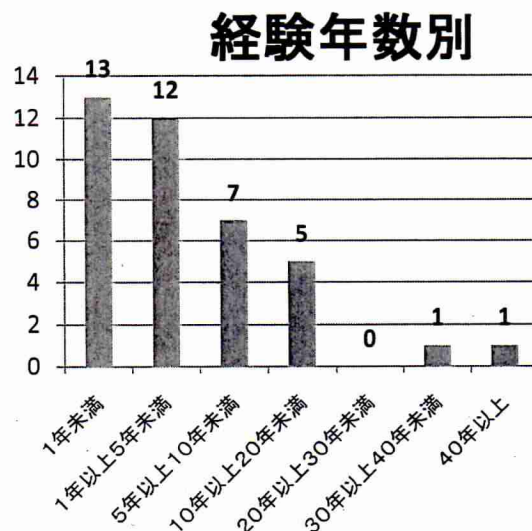
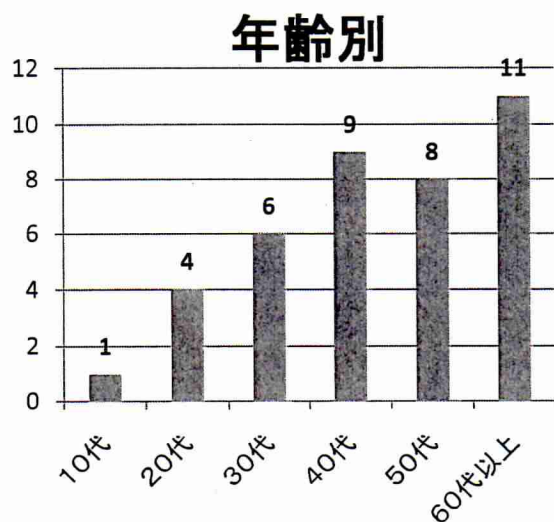
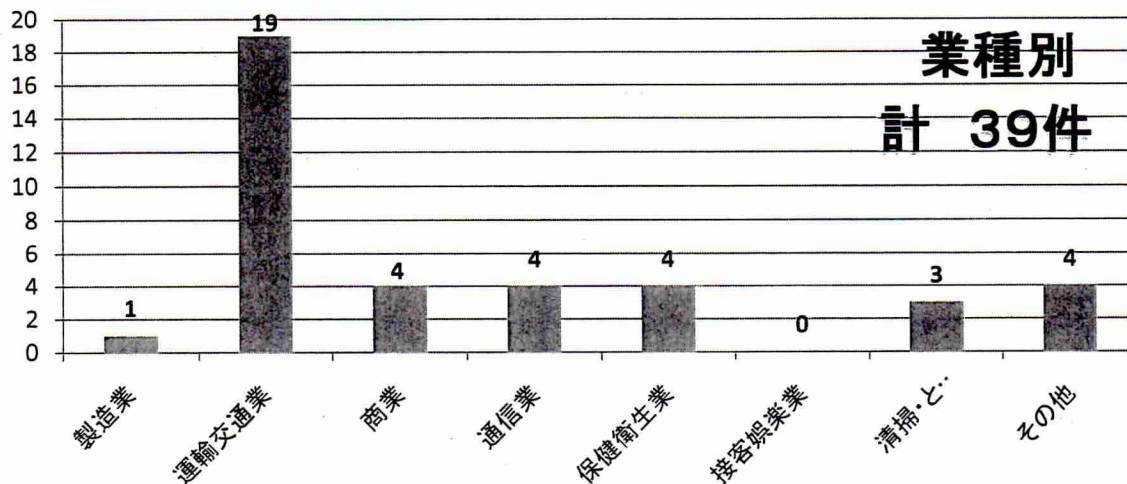
年齢別



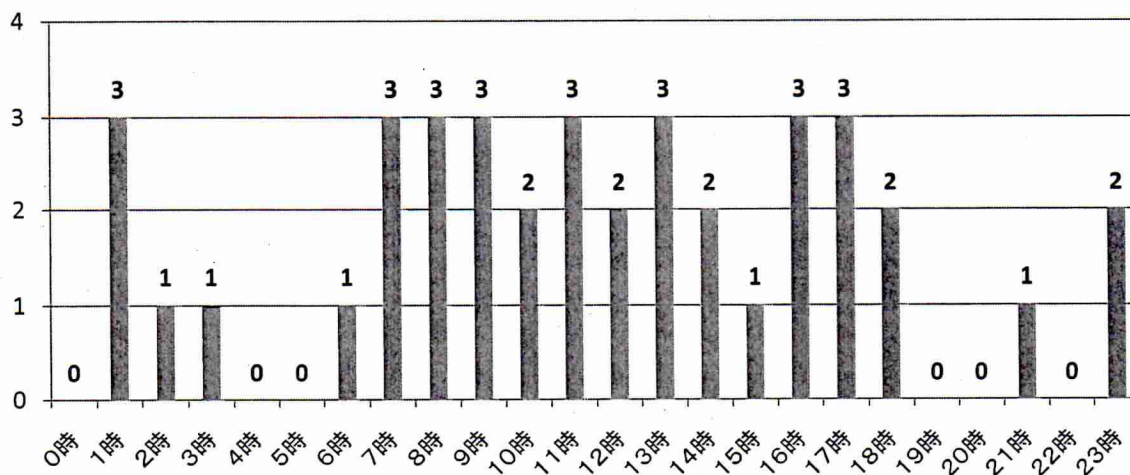
経験年数別



交通労働災害発生状況



発生時間別



平成22年 重大災害事例

死亡災害

災害発生年月日	平成22年2月	災害の概要
発生時間	9時00分	フォークリフトのフォークで、アルミの空缶の入ったコンテナをはさみ、コンベア投入付近まで運転し、フォークを回転させ、コンテナからアルミの空缶をコンベア投入場所へ投入した。被災者は、コンベア投入場所付近で作業していたが、突然、フォークリフトのフォークコンテナが落下し、床面に散乱していたアルミの空缶の上をバウンドして、被災者に直撃したものの。
業種	その他の廃棄物処理業	
事故の型	飛来・落下	
起因物	その他の用具	
年齢	60歳代	
経験年数	10年	
		再発防止対策
		コンテナにフォークを確実に挟む。

災害発生年月日	平成22年3月	災害の概要
発生時間	不明	同僚が会社の寮において、意識がなく仰向けで倒れている被災者を発見した。過重労働によりくも膜下出血を発症し死亡したものの。
業種	道路貨物運送業	
事故の型	その他	
起因物	起因物なし	
年齢	40歳代	
経験年数	4年	
		再発防止対策
		過重労働を防止する。

災害発生年月日	平成22年4月	災害の概要
発生時間	14時25分	航空機格納庫内で、格納庫大扉を稼働しながら不具合箇所を確認していたところ、当該大扉と躯体側鉄骨とに挟まれて死亡したものの。
業種	機械修理業	
事故の型	はさまれ・巻き込まれ	
起因物	建築物・構築物	
年齢	60歳代	
経験年数	2年	
		再発防止対策
		大扉と躯体側鉄骨との間に安全ブロックを設け、挟まれ防止措置を講じる。

災害発生年月日	平成22年7月	災害の概要
発生時間	14時30分	小荷物専用昇降機が停止しているとの故障依頼を受け、被災者が現地出動したが、現地に到着しているはずの被災者と連絡が取れないため他の保守員を現地確認に向かわせたところ、屋上の機械室内でカバーが外された制御盤に頭をつけた状態で意識を失っている被災者を発見し、救急車で病院に搬送したが死亡したものの。
業種	機械修理業	
事故の型	感電	
起因物	その他の電気設備	
年齢	20歳代	
経験年数	10年	
		再発防止対策
		電源を切って作業する。

災害発生年月日	平成22年11月	災害の概要
発生時間	0時50分	トラックに農薬（クロルピクリン）の缶を積載して青森県内の国道を走行していた。右カーブのところで道路が雨上がりで濡れており気温が氷点下だったので路面がブラックアイス状態になっており、スリップして横滑りしブレーキもきかなくなった。対向車に接触した後、左側の崖下へ約20m転落し、その際、積載していた農薬の缶が破裂して、急性薬物中毒となり死亡したものの。
業種	道路貨物運送業	
事故の型	有害物との接触	
起因物	トラック	
年齢	60歳代	
経験年数	3年	
		再発防止対策
		タイヤにチェーンを装着して走行する。

休業6ヶ月以上の災害

災害発生年月日	平成22年4月	災害の概要
発生時間	9時00分	資材置き場にジブクレーンのブームが置いてあり、その上を歩行していたところ、ブームが横に転び、足をブームとH鋼との間に挟んだもの。
業種	その他の建設工事業	
事故の型	挟まれ・巻き込ま	
起因物	金属材料	
年齢	50歳代	
経験年数	17年	再発防止対策
		十分な幅の通路を設け、そこを通行する。

災害発生年月日	平成22年5月	災害の概要
発生時間	1時00分	解体工事現場で、2階の床の片付けをしていたとき、持っていた単管パイプが作業服に引っかかり、バランスを崩して、3メートルの高さから墜落した。
業種	その他の建設工事業	
事故の型	墜落・転落	
起因物	建築物・構築物	
年齢	50歳代	
経験年数	8年	
		再発防止対策
		安全帯を使用する。

災害発生年月日	平成22年6月	災害の概要
発生時間	10時48分	3階の外壁に取り付けたエアコン配管を外すため、2階のベランダから梯子をかけて、梯子の上で作業をしていたところ、バランスを崩し、地上まで6メートルの高さを墜落した。2人作業で1名が梯子を支えていたが、被災者は保護帽、安全帯を未着用であった。
業種	その他の電気機械器具製造業	
事故の型	墜落・転落	
起因物	はしご等	
年齢	20歳代	
経験年数	11ヶ月	
		再発防止対策
		足場を設ける。難しい場合は、安全帯を取り付ける設備を設け、安全帯を着用させ作業をする。

災害発生年月日	平成22年6月	災害の概要
発生時間	11時00分	新築現場で、脚立に足場板を通しその上で天井の塗装をしていたところ、1メートルの高さから墜落した。
業種	その他の建設工事業	
事故の型	墜落・転落	
起因物	足場	
年齢	60歳代	
経験年数	40年	
		再発防止対策
		手掛かりのある立ちウマを使用する。

災害発生年月日	平成22年7月	災害の概要
発生時間	11時25分	トラックの荷台上で、材木の固縛をしていたところ、荷台から墜落した。
業種	一般自動車運送業	
事故の型	墜落・転落	
起因物	トラック	
年齢	40歳代	
経験年数	6ヶ月	
		再発防止対策
		地上からの固縛を基本とし、荷台上においては親綱の取り付け安全帯を掛け、保護帽を着用する。

災害発生年月日	平成22年7月	災害の概要
発生時間	10時25分	マンションの庇の上でガラス拭きをしていたとき、強風によりバランスを崩し、高さ3メートルの高さから地上に墜落した。
業種	ビルメンテナンス業	
事故の型	墜落・転落	
起因物	建築物、構築物	
年齢	60歳代	
経験年数	2年	
		再発防止対策
		ゴンドラを使用、または、安全帯を使用する。

災害発生年月日	平成22年10月	災害の概要
発生時間	8時10分	トラックのあおりの上のにのり、荷台にのった荷物の固縛を解いたとたん、荷が被災者に向かって崩れ、地上へ墜落した。
業種	一般貨物自動車運送業	
事故の型	墜落・転落	
起因物	トラック	
年齢	50歳代	
経験年数	10年	
		再発防止対策
		固縛を解いても荷崩れをしないように固縛をする。また、地上から固縛を解くなど、不安定な場所で作業をしない。

災害発生年月日	平成22年12月	災害の概要
発生時間	13時05分	外部足場の解体中、足場上で、上部作業員から足場材を受け取った際、バランスを崩し、10メートルの高さから墜落した。安全帯を使用していなかった。
業種	鉄骨・鉄筋コンクリート造建築工事	
事故の型	墜落・転落	
起因物	足場	
年齢	20歳代	
経験年数	2年	
		再発防止対策
		安全帯を使用する。